

八丈島 水産だより

3月号



上の写真は、フリージア満開の風景です。例年は3月から5月頃にかけて満開となります。今年は八丈島でも寒かったため、フリージア祭り（3月21日～4月5日）に間に合うよう、ビニールハウスの中で育てています。暖くなるこれからの季節、八丈島は、カツオ漁・トビウオ漁などでにぎわいます。

トビウオ漁

2月1日から3隻の漁船が、トビウオ漁を始めました。2月下旬の漁獲量は、1日の平均が9,000～10,000尾で、この時期としては好漁のようです。この漁は5月末ごろまで続きます。



カツオ漁

今年もいよいよカツオ漁が始まりました。これから5月ごろにかけ、多くの漁船が、カツオ漁に出るようになります。カツオ漁では他に、キハダ、ピンチョウなどのマグロや、大きなマカジキなどが釣れることもあります。

ハバハリ

この左下の写真(中央の茶色の海そう)は、ハバハリといいます。八丈島ではハンバと言って親しまれています。長さは25cm程になり、冬から春にかけ、岩にへばりつくように生えています。取れたものを塩抜きし、油で炒めておかずにしたたり、乾燥させ保存しておきます。島では白いご飯に混ぜたハンバ飯(右下)などがよく知られています。また、釣り人が、魚の餌とすることもあります。



ハバハリ



ハンバ飯